

## 審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成29年度松阪市美術展覧会 第2回運営委員会
2. 開 催 日 時	平成30年1月15日(月) 午前9時30分から10時30分
3. 開 催 場 所	松阪市殿町1340番地1 松阪市役所 5階特別会議室
4. 出席者氏名	(委員)◎山口友子、○下平さなみ、福田光子、垣本和美 野口巳織子、百合智子、川村輝夫、坂口久司、溝田幸輝 (◎委員長 ○委員長代理)  (事務局) 別紙のとおり
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	1人
7. 担 当	松阪市殿町1340番地1 松阪市事務局産業文化部文化課 担当者 : 浅原 電 話 0598-53-4397 F A X 0598-22-0003 e-mail <a href="mailto:bun.div@city.matsusaka.mie.jp">bun.div@city.matsusaka.mie.jp</a>

### 協議事項

- (1) 第58回松阪市美術展覧会について
- (2) 第59回松阪市美術展覧会開催について
- (3) その他

### 議事録要約

別紙

## 平成 29 年度 松阪市美術展覧会第 2 回運営委員会議事録（要約）

開催日 平成 30 年 1 月 15 日（月）午前 9 時 30 分～午前 10 時 30 分

会 場 本庁 5 階特別会議室

出席者 野口巳織子（日本画）、百合智子（洋画）、川村輝夫（彫塑）、坂口久司（美術工芸）、  
溝田幸輝（写真）、山口友子、下平さなみ、福田光子、垣本和美

産業文化部長：村林、文化課長：榊原

文化振興係長：鈴木、文化振興主任：石田、文化振興係：浅原

傍聴者 1 名

### 1 開会

### 2 部長あいさつ

### 3 議題

#### (1) 第 58 回松阪市美術展覧会について

#### ①松阪市美術展覧会 結果報告について

（事務局）以下報告

##### ○出品数と入場者数

出品数	【絵画】 112 点（昨年比：21 点の減） 【写真】 74 点（昨年比：14 点の減） 《計》 291 点（昨年比：35 点の減）	【彫刻・工芸】 43 点（昨年比：4 点の増） 【書道】 62 点（昨年比：4 点の減）
入場者数	【第 1 部】 1,677 人（昨年比：40 人の減） 【第 2 部】 1,035 人（昨年比：262 人の減） 【計】 2,712 人（昨年比：302 人の減） ・高校生以下 176 人（昨年比：30 人の減） ※第 2 部の会期最終日に台風が接近していたことや会期中の天候が悪かったことも 要因の一つと推測される。	

##### ○高校生以下出品料無料の取り組みについて

出品数	【絵画】 4 点（昨年比：3 点の増） 【写真】 0 点（昨年比：3 点の減） 《計》 11 点（昨年比：5 点の減）	【彫刻・工芸】 0 点（昨年比：2 点の減） 【書道】 7 点（昨年比：3 点の減）
結果内訳	【絵画】 入選 3 名、選外 1 名 【写真】 出品なし	【彫刻・工芸】 出品なし 【書道】 入選 7 名

##### （運営委員）

- ・台風接近にかかる搬入・搬出の情報をホームページに掲載したとはいえ、ホームページを利用しない人もいる。特に高齢者の方にとってはわかりにくい。実際のところ第 1 部搬入では、出品者自ら台風がひどくなる前にと、土曜日の早い内に来ていた。
- ・台風の場合は地面の状態が悪く、駐車場側から行くと靴がビショビショになってしまう。表の方から入ればそうでもないが、基本的に市展の出品者は裏の公園側からやってくるので、靴が汚れてしまう。

- ・台風に限らず会期中は雨の日が多かったように覚えている。ただ開催日としてはちょうどいい時期を選んでもらっている。何らかの形で作品を見てもらう機会を作ることはできないか。

(高校生以下の出品について)

- ・彫刻・工芸作品の制作は時間がないと難しい。
- ・最近では学校のクラブ活動でも写真クラブがあるが、あまり松阪では盛んにやっていないように思う。高校生以下の出品者が少ないのもそういう影響があるのではないか。

(事務局)

台風等悪天候時、もしもの時の対応については、ホームページ以外でも周知できるよう方法を考えていく。高校生以下の出品者についてもワークショップ等を活かして、市展や出品に興味を持ってもらえるように若い世代への呼びかけを行っていきたい。

## ②「夏休み子どもワークショップ 2017」について

(事務局) 以下報告

次代の松阪市を担う子どもたちに、美術等へ関心を持つ機会を提供し、また制作した作品を展示することで発表する喜びを体験することを目的として平成 27 年度より開催。今回は松阪市展第 1 部と同じ「絵画」「彫刻・工芸（立体造形）」部門で実施した。

夏休み子どもワークショップ 2017		
絵画部門	テーマ	「みんなで動物園や遊園地をつくろう！」
	実施日	平成 29 年 8 月 18 日 (金) 13:00~15:00
	実施場所	松阪市文化財センター 第 1 ギャラリー
	実施内容及び 参加者内訳 (指導者敬称略)	【参加者】市内小学校 1~6 年生 45 名 【指導者】百合智子 【内容】画用紙に好きな動物の絵や乗り物の絵を描き、それを切り抜いて縦 2m、横 6m の大きな紙に貼り付け、みんなで一つの大きな動物園と遊園地の絵を完成させた。
写真部門	テーマ	「たのしい乗り物をつくろう！」
	実施日	平成 29 年 8 月 18 日 (金) 13:00~15:00
	実施場所	松阪市文化財センター 第 2 ギャラリー
	実施内容及び 参加者内訳 (指導者敬称略)	【参加者】市内小学校 1~4 年生 54 名 【指導者】高橋光彦、樫山和幸 【内容】2~3 名一組で、協力してダンボールやペットボトルを使って車、電車、船、飛行機などの乗り物を作り上げた。
募集方法	【チラシ配布】6 月 15 日~ 学校を通じ、市内小学生に配布	
申込内訳	FAX : 65 通 メール : 17 通 ハガキ 3 通 計 85 通 162 名	
ボランティアスタッフ	松阪工業高校・三重高校・相可高校の生徒 17 名	
作品展示	松阪市展の第 1 部会期に合わせ、文化財センターはにわ館内に展示。	

(運営委員)

- ・応募者が多かったので、絵画部門は全員を受け入れることにした。皆楽しんでやっていたよかったです。
- ・昨年写真部門の応募が少なかったが、今回は応募が多く非常に素晴らしいと思う。
- ・彫刻・工芸部門では、自分たちの書いた作品の設計図をもとに作り上げた。出来上がった作品を見るとその時の子どもたちのイキイキとして楽しそうな様子や、必死な制作状況が伝わってくるように感じた。
- ・開催側（指導者側）は参加希望者がいるかという心配や、準備など大変なことも多いが、子どもたちが一生懸命やるという体験、喜んでいたという事実を感じることができた。
- ・ワークショップを始めたばかりでまだまだこれからではあるが、市展を長く続けていくにあたっての一つの取り組みだと思うので、ぜひ続けてもらいたい。
- ・参加人数が心配ということもあるが、回数を重ねていくことでこの取り組みについてわかってもらえるのではないと思う。参加者の親からも楽しいという声が聞かれたので、これからそういうニーズも増え、以前応募が少なかった部門も今後は応募が増えると思う。
- ・三重県内の他市では実施していないところが多い中で、この様な子どもたちが夢を持てるチャンスを作っているということは素晴らしいと思う。
- ・現在は「子どもワークショップ」ということで対象を小学生に限っているが、たとえば対象を高校生にすれば、習得したことを即実現できる。その様なワークショップも有効ではないかと感じた。

(事務局)

応募が多く急遽定員を増やすことになったが、両部門とも大きな問題もなく、みんな一生懸命作品づくりに取り組んでいたと思う。ご指導・ご協力いただいた先生方には心より感謝を申し上げたい。

### ③その他

(運営委員)

絵画部門でのコラージュ作品について

- ・コラージュ作品は認めていくべき。作品としていいかどうかは審査委員が判断する。出品者本人がこれは「工芸」ではなく「絵画」で出品したということが大事。

台風時の対応について

- ・開催要項の中に問合せ先の電話番号が載っていると、ホームページを見られない方でもすぐ対応できると思う。

(事務局)

コラージュ作品については引き続き出品者の意向に沿った部門で受け入れていく。台風等悪天候の時やもしもの時の対応について、ホームページだけでなく予め開催要項にも載せておくことを検討する。

## (2) 第 59 回松阪市美術展覧会について

### ① 開催日程および会場について

(事務局)

会場と開催日程について、以下のとおり提案。

[会場]松阪市文化財センター

[日程]搬入日：土曜日・日曜日→金曜日・土曜日

搬出日：日曜日・月曜日→土曜日・日曜日

●変更理由：日程を一日早めることで、悪天候等の理由により金曜日・土曜日に搬入・搬出を行うことが出来ない場合に日曜日を予備日として設ける。

審査会：水曜日→火曜日、予備日として水曜日

●変更理由：台風やもしもの時に審査会を開催出来ないおそれがある。また審査会を一日早めることで、目録作成の日程に余裕をもたせる。

[その他]目録への広告掲載を検討中。

(運営委員)

異議なし。

(対応等)

今回の運営委員会で開催要項を提出し、審議を図る。

### ② ワークショップについて

(事務局)

平成 29 年度は、第 1 部「絵画」「彫刻・工芸」部門で開催した。平成 30 年度については、第 1 部「彫刻・工芸」部門の「陶芸」で開催を考えている。より具体的な案については先生方や関係者の協力をいただきながら検討していきたい。

(運営委員)

・異議なし。

### ③ 審査委員および運営委員について

(事務局)

#### 審査委員について

松阪市美術展覧会審査委員設置要綱に基づき、今年度の運営委員(専門委員)に候補者を期日までに選出いただく。

#### 運営委員について

松阪市美術展覧会運営委員会設置要綱に基づき、任期は委嘱のあった当該年度、ただし再任は妨げない。

【専門委員】任期は 1 年とし、平成 30 年度は別途選出する。

【公募委員】第 60 回記念大会の協議などもあり、再任を検討したい。

(運営委員)

【専門委員】異議なし。

【公募委員】協議をさせていただく。

### (3) その他

(運営委員)

- ・現在審査会当日まで審査委員の名前を非公表としているが、徹底されていない。特にサークルや団体に入っている人は様々な情報が伝わりやすく、どこにも所属していない人は知らないという状況が発生することもあるため、公開にした方が公平ではないか。
- ・審査委員は公開してもよいと思う。もし公表したことで不正があるとすれば、それは審査委員の（資質）の問題。公表することで、その審査委員に自分の評価をしてもらいたいから出品しようとする人もいるかもしれない。いい審査委員を選んでいくのも運営委員の大事な仕事。
- ・他市の話もあったが、吸収できるものは吸収する、しかし全て同じ様にするのではなく松阪市は松阪市の独自性を持ってやってほしい。

## 4. 閉会